



学校だより



6月号

令和8年5月29日
江戸川区立瑞江小学校

生成 AI の適切な利活用へ

校長 牧岡 優美子

先日の運動会は、幸運なことに涼しくて運動日和。熱中症の心配をせずに実施できました。子どもたちが力一杯走り、表現し、応援し合い、その姿を保護者・地域の皆様が応援してくださり、素晴らしい運動会になりました。校庭改修で徒競走コースの位置がずれたことや、前日が雨天でリハーサルができず「ぶっつけ本番」が多かったことは、みんなの頑張りで吹き飛びました。

また、PTA 運動会ボランティアとグディーズの皆さんが、テントの準備から片付け、校庭の復旧を手伝ってくださいました。本当にありがとうございました。

さて、最近では頻りに生成 AI の話題があがります。もう、子どもたちも例外ではありません。令和6年12月26日付で文部科学省からも『初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン Ver.2.0』が出されて1年半が経っています。これは学校現場で AI の特徴を理解し、効果的に活用できるスキルと情報モラルを身に付けるための参考資料です。

生成 AI は今や社会インフラの一部であり、誰もが日々の暮らしで活用しています。AI は進化を続け、3年半前に登場したチャット GPT はまるで人格があるかのようにやり取りができます。事務仕事をあっという間にやってくれるし、動画や絵を作るのも得意！社会を豊かにしてくれる期待が大きい、便利なテクノロジーです。

一方で、様々なリスクや思考力の低下などが懸念されています。AI は秀才ですが、過去のデータのパターン化です。中には偽情報・デマも含まれていて、全てが正解とは限りません。情報の真偽を確かめる（ファクトチェック）習慣、個人情報や機密情報は入力しない、出力する前に必ず確認するなど、リスク回避も欠かせません。子どもたちに、便利さと危うさがあることをきちんと教える必要があります。

そこで今年度は、4～6年生で生成 AI を活用した授業に取り組むことにしました。江戸川区では導入されていないので、学校用の生成 AI 「スタディポケット」のトライアルをお願いしました。これは、直接的な答えを提示せずにヒントを質問で返してくる AI です。また、学習で活用した内容がネットに流れず学校内で守られるので、安全性を担保しながら学べます。AI に頼りきって自分の理解度が分からなくならないように、何度でも AI との対話をしながら思考を深める練習をします。安全で効果的に AI を活用し、最後は自分の判断で決定するように学んでいきます。

ところで、春にお知らせした大規模改修で校舎の外壁塗装が入ります。先週、区の景観条例に沿った2案が示されたので、町会、PTA 会長、学校関係者、代表委員の子どもたち、教職員で選び、外壁の色が決まりました。秋の完成が楽しみです。